

社会資本総合整備計画

平成 25 年 1 月 18 日

計画の名称	1 相模原市水とみどりの保全事業			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	相模原市		

やすらぎと潤いを与えてくれる貴重な自然環境を次代へつなぐためには、多様な生物の生命、清らかな水や豊かなみどりを大切に守り育てることが必要です。  
このことから、相模原市水とみどりの基本計画においては緑地の公有地化の拡大を推進施策に位置付け、市街地に残る貴重なみどりを保全・再生し、多様な生物が生息できる恵み豊かで美しい自然環境の形成をめざします。

計画の成果目標（定量的指標）

近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の緑地について、都市緑地法に基づき買入申出がなされた場合において土地の買入れを行い、市有緑地面積を15万㎡（H25当初）から24万7千㎡（H29末）として公有地化の拡大を図り、市街地に残

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値	備考											
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)									
近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の土地の買入面積から算出する。	15万㎡	20万8千㎡	24万7千㎡									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,500百万円	A	3,500百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H25	H26	H27	H28	H29				
1-A-1	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	相模原市緑地保全等事業（相模原近郊緑地特別保全地区）	土地の買入れ（8ha）	相模原市						3,200			
1-A-2	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	相模原市緑地保全等事業（相模横山・相模川近郊緑地特別保全地区）	土地の買入れ（1.4ha）	相模原市						210			
1-A-3	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	相模原市緑地保全等事業（下九沢内出緑地保全地区）	土地の買入れ（0.3ha）	相模原市						90			
合計													3,500				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計																	

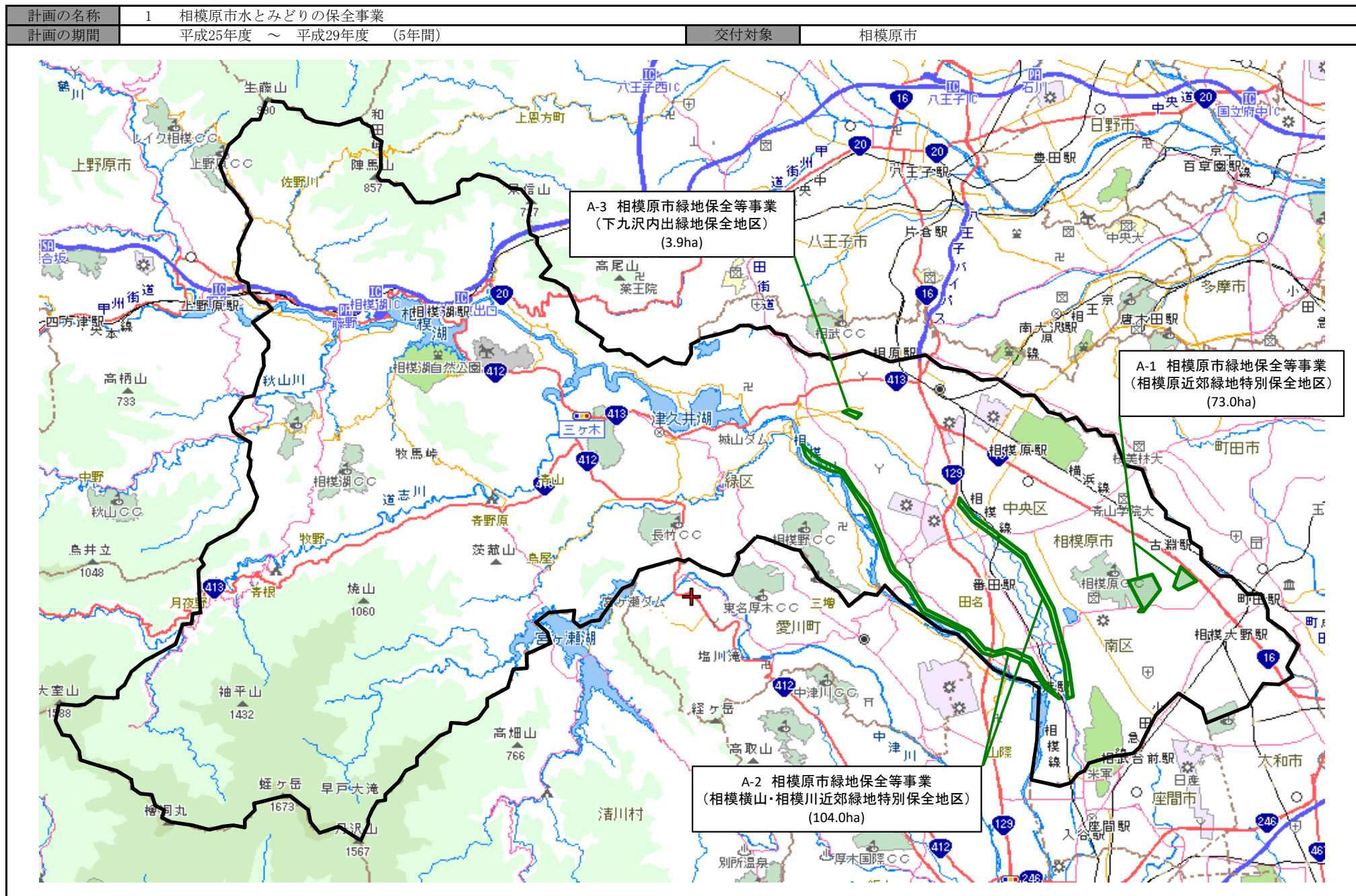
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
配分額 (a)	275.000	245.850	295.500	277.700	142.000
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	8.800	0.000	0.000	0.000
交付額 (c=a+b)	275.000	254.650	295.500	277.700	142.000
前年度からの繰越額 (d)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
支払済額 (e)	275.000	254.650	295.500	277.700	142,000.000
翌年度繰越額 (f)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
うち未契約繰越額 (g)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	—	—	—	—	—

※ 平成25年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)



## 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：相模原市水とみどりの保全事業 都道府県名：相模原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	—
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○

中間・事後評価書

平成30年9月28日

社会資本総合整備計画

計画の名称	1 相模原市水とみどりの保全事業		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	相模原市
計画の目標			

やすらぎと潤いを与えてくれる貴重な自然環境を次代へつなぐためには、多様な生物の生命、清らかな水や豊かなみどりを大切に守り育てることが必要です。  
このことから、相模原市水とみどりの基本計画においては緑地の公有地化の拡大を推進施策に位置付け、市街地に残る貴重なみどりを保全・再生し、多様な生物が生息できる恵み豊かで美しい自然環境の形成をめざします。

計画の成果目標 (定量的指標)	近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の緑地について、都市緑地法に基づき買入申出がなされた場合において土地の買入れを行い、市有緑地面積を15万㎡ (H25当初) から24万7千㎡ (H29末) として公有地化の拡大を図り、市街地に残る貴重なみどりを将来にわたって保全する。		
-----------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	
近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の土地の買入れ面積から算出する。	15万㎡	20万8千㎡	24万7千㎡	

全体事業費	合計 (A + B + C)	3,500百万円	A	3,500百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	0.0%
-------	-------------------	----------	---	----------	---	------	---	------	-------------------------------	------

事後評価 (中間評価)

事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
市内部評価	平成30年9月 公表の方法 市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 緑地保全等事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
1-A-1	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	-	-	相模原近郊緑地特別保全地区	土地の買入れ (4.1ha)	相模原市						1,864	
1-A-2	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	-	-	相模横山・相模川近郊緑地特別保全地区	土地の買入れ (2.3ha)	相模原市						375	
1-A-3	公園	一般	相模原市	直接	相模原市	-	-	下九沢内出緑地保全地区	土地の買入れ (0.1ha)	相模原市						41	
合計															2,280		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・相模原近郊緑地特別保全地区、相模横山・相模川近郊緑地特別保全地区及び下九沢内出緑地保全地区の3地区において、6.5haの土地の買入れを行い、緑地の恒久的な保全を図ることができた。			
------------------------------	--	--	--	--

定量的指標の実現状況	目標 近郊緑地特別保全地区及び特別緑地保全地区内の土地の買入れ面積から算出する。	最終目標値	24万7千㎡	目標値と実績値に差が出た要因	対象事業箇所の中で、相模横山・相模川近郊緑地特別保全地区については目標値を達成したが、相模原近郊緑地特別保全地区及び下九沢内出緑地保全地区については、目標値を達成せず、全体としても目標値に達しなかった。計画策定時は、過年度の買入れ申出のペースに合わせて目標値を設定したものの、相続等を起因とした地権者からの買入れ申出が見込みどおりに伸びてこなかったことが主な要因であると推測される。
		最終実績値	21万5千㎡		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			

定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
--------------------------------------	--	--	--	--

3. 特記事項(今後の方針等)

平成30年度以降においても、引き続き各緑地保全地区の土地の買入れを進めることにより、市街地に残る貴重なみどりを保全・再生し、多様な生物が生息できる恵み豊かで美しい自然環境の形成をめざす。

(参考図面)

